

平成23年度

NO.9

11月1日発行

11月号

仲町だより



なかよく

まなぼう

ちからいっぱい

練馬区立仲町小学校

充実の 秋

校長 澤井 英子

【緊急時の連絡】

11月とはいえ、寒暖の差が激しい毎日が続いています。区内の学校では、インフルエンザで学級閉鎖されたところも出てきました。仲町小では、幸いなことにまだインフルエンザの発症はありませんが、肺炎や高熱の児童もおります。うがい・手洗いなど、毎日の健康管理に十分気をつけてまいります。ご家庭でも、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムの確認をよろしくお願いいたします。

先日、学校でのけがや急病で、保護者の携帯電話に連絡がつかないことがありました。学校では、けが人が出ないよう十分に注意はしていますが、何が起きるか分かりません。また、これからの季節は高熱が出る等、緊急に連絡をすることがあります。今後、メールでのお知らせがあることをご承知おきください。なお、仲っ子広場にも緊急時の連絡方法をお知らせいただくと助かります。

【読書活動の充実】

本校では毎週木曜日の朝、全校で読書する時間が定着しています。読む本は、図書室の本だけでなく、家から用意した物など、どの子も静かに読書を楽しむ時間になっています。「読書活動推進モデル校」に指定されて以来、図書館管理員の寺崎さんが中心となり、図書ボランティアの皆様のご協力を得ながら、図書室を児童にとって使いやすく、居心地のよい空間に整備して頂いています。ありがたいことです。先日、書架が新しくなり、絵本のコーナーがさらに使いやすくなりました。

現在、各学年ごとに「読んでみよう おすすめの20冊」のカードが紹介されていますが、全部読み終わった子の要望があり、すてっぷ2レベル★①「どうぶつにちょうせん」から、すてっぷ2レベル★★★★★⑧「名作に挑戦」までのカードが用意されるほどになりました。読書を通して、心豊かに育つことを願ってい

ます。秋の夜長、ご家庭でもお子さんと一緒に読書タイムはいかがでしょう。

【収穫の秋】

2年生が無償でお借りしている農園で、サツマイモの収穫をしました。つるを切り、掘り起こすと、大きなサツマイモが何本もとれ、子供たちの歓声が上がりました。また、束ねたつるを頭に巻き、「王子様のようにしょう」と見せてくれた子もいます。

農園クラブが屋上のプランターに植えたサツマイモは、毎日の水やりの成果もあり、元気に成長しました。ツルは予想より広がらず、屋上緑化には今一步でしたが、ツルを伸ばさなかったプランターの方がよい芋がとれるなど、どのプランターからも立派な芋がとれました。芋は、蒸かして、焼いて、味噌汁でと、様々に調理されました。

5年生の「お米の学校」は、『なぐも原・結いの里』から、臼井先生をお招きして、春から6回目となりました。先日刈り取り、教室に干していた稲を、持ってきて頂いた農機具で玄米にする体験をしました。すべて手作業の千歯こきから、足を動力にして数倍能率が上がる足踏み脱穀機、手回しハンドルで羽根車を回転させ、風の力で籾や玄米を選別する唐箕（とうみ）で玄米になる過程を一人一人が体験することで、農作業の奥の深さを実感していました。日本古来の農機具に、「昔の人にはすごい知恵があるんだね。」と感心していた5年生です。

【お知らせ】

○学校公開には、たくさんの保護者の皆様にご来校いただき有難うございました。いただいたアンケートは、別紙にてお知らせします。

○遠藤先生の育児休業代替として、算数少人数を担当する相田満里子さんが着任しました。よろしくお願いいたします。